

読売新聞 きょう（9月2日）のイチ押し

1面、3面、社会面 眞子さま 一年半前から結婚の形式模索

本紙の特ダネで明らかになった「眞子さまの年内結婚」ですが、実は、眞子さまは1年半以上前となる2019年末頃から、小室圭さんとの結婚に批判的な国民感情を考慮し、できる限り理解が得られる結婚の形式を模索されていました。

- ★ 眞子さまは、小室さんとの結婚に必ずしも多くの人が納得していない状況の中、2019年の年末から翌2020年の年始にかけ、宮内庁参与に対し、①小室さんとの結婚の意思が変わりがない②一時金を辞退する③結婚関連の儀式を行わない——ことを伝えられていました。
- ★ 眞子さまが伝えられた形式は前例のないことです。結婚関連儀式は明治以降、これまで例外なく行われてきました。一時金の支給も法律で規定されており、辞退となれば法律の解釈を変える必要があります。結婚の意思を貫かれた眞子さまのいちずでまっすぐな思いは、秋篠宮ご夫妻の心をも動かしました。

スポ面（20面） 菅野8回零封 巨人3連勝で首位守る

巨人のエース・菅野投手が、ヤクルト打線を8回1安打無失点に抑え、4月23日以来、131日ぶりの白星を挙げました。菅野投手は4か月間も勝ち星から遠ざかっていましたが、この日は8つの三振を奪うなど好投を見せ、外野に打球が飛んだのはわずか3本とヤクルト打線を完全に抑えました。決勝となった2点本塁打を放った丸選手と立ったヒーローインタビューでは笑顔がはじけました。巨人は3連勝で首位を守りましたが、連敗を止めた2位・阪神とのゲーム差はわずかに0・5。その阪神と3日から甲子園で3連戦です。熾烈な首位争いから目が離せません。

他紙と比べて

新型コロナウイルスの感染第5波では、子どもの感染が拡大しています。10歳未満の感染者は8月下旬までに6万人近くにもものぼっています。軽症で自宅療養となるケースが大半で、保護者は感染に気をつけながら看病することになります。その際の注意点をくらし面（13面）でまとめています。いざという時は参考にいただければ。